

PREMIUM MACHINE TOOL MANUFACTURER

INEWS!

Vol.40-2 No.200 令和3年春号

取締役及び執行役員人事

弊社、株式会社松浦機械製作所(代表取締役社長 松浦勝俊)は、令和3年3月30日付の定時株主総会および取締役会において役員等の改選・選任を行いましたので、お知らせいたします。

今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

取締役および会計参与

代表取締役		松浦勝俊	〈重任〉
取締役	品質·統合物流·組立本部管掌	高橋英郎	〈重任〉
取締役	営業・技術本部管掌	松浦悠人	〈新任〉
会計参与(非常勤)		長谷川正治	〈重任〉

執行役員

社長	松浦勝俊	〈重任〉
経営企画室長、輸出管理室長	高橋英郎	〈重任〉
DX 推進室長	松浦悠人	〈重任〉
営業本部長	山岸敏弘	〈新任〉
国内営業本部長	渡辺敏史	〈新任〉
技術本部長	松原英人	〈新任〉
品質本部長	加藤敏彦	〈新任〉
統合物流本部長	一 裕信	〈新任〉
組立本部長	市橋佳巳	〈新任〉

同日付で、前常務取締役神戸久信、天 谷浩一は退任し、相談役に就任いたしま した。

新体制の下、選ばれる理由にこだわり、高品質で顧客満足度の高い商品を効率的にお届けするため、「人×モノ」の2つを両立させ掛け合わせながらマツウラらしいモノづくりを進めてまいります。

日本のヘソ

福井 | No.198



福井は日本のドマン中「日本のヘソ福井」第198回目は「歌人、橘曙覧(たちばなのあけみ)」の話です。 橘曙覧は、幕末福井の歌人、国学者です。橘曙覧の歌の特徴といえば日常生活に題材をとり、身近な言葉で詠むということを第一に挙げています。歌集「独楽吟(どくらくぎん)」は「たのしみは」で始まって 「・・とき」で終わる形式でよんだものです。近年では、 平成6年6月13日、天皇皇后両陛下がご訪米された際の歓迎スピーチにおいて、ビル・クリントン、アメリカ合衆国大統領が橘曙覧の「独楽吟」の中の一首 「たのしみは 朝おきいでて 昨日まで無かりし花の 咲ける見るとき」が引用されました。

コロナ禍で不自由な生活を強いられていますが、 橘曙覧の歌にあるように、日常の中に"たのしみ"を 見つけることで癒されるのではないでしょうか。





株式会社若林精機工業: 人の力による品質のつくりこみで

今回のユーザーを訪ねては、JR新大阪駅から車で10分の 距離にある(株)若林精機工業です。取材には若林繁正社 長、中森勇志工場長、漆原洋介係長に対応頂きました。

同社は昭和32年に若林社長の祖父である若林繁夫元社長が工具や材料などを扱う工具商として若林商店を創業しました。現在では医療機器の部材供給に特化した非鉄金属及び樹脂の精密加工のほか、プラスチックの精密射出成形を行っています。

若林社長は平成2年に同社へ入社。20代は製造にうちこみ、30代からは営業を経験したのちに、平成24年に社長に就任されました。



▲会社外観

販売業から加工業への転換

創業時の若林商店は、高度経済成長期の最中で工具類の販売のほか、部品製造の依頼も受けていました。同社は当時販売業であったため、製造は外部業者へ委託していました。しかし、委託して出来上がった部品は出来が悪く、不良品が続いてしまうという問題が発生。若林社長の父である若林茂会長は、先代の後を継ぐと同時に汎用旋盤を導入して、若林会長は自ら部品加工を始めました。昭和54年にはNC旋盤も導入し本格的に加工業を開始。社名も(有)若林精機工業へと変更して名実ともに販売業から加工業へと業種転換しました。

同社は加工業への転換後、非鉄金属や樹脂部品の加工を中心に事業を行ってきましたが、時代は軽量化とコストダウンを求めることから射出成形による部品製造が増えてきました。時代の流れに合わせ、同社は平成4年に精密射出成形工場として神戸工場を開設。当時成長産業であった医療業界向けを中心に樹脂部品の射出成形を行っていきました。現在では、断熱と遮熱工事を施し環境負荷を軽減した大阪本社工場と神戸工場にて非鉄金属や樹脂の精密切削加工、樹脂の精密射出成形を行っています。

5軸制御立形マシニングセンタMAM72-3VSを設備

同社は、平成16年10月に神戸工場拡張に伴う移転と同時にMAM72-3VSを設備しました。

「マシニングセンタを選定するにあたり、マツウラの機械は憧れのメーカーの1つです。高速回転が流行しだした頃に、マツウラのマシニングセンタは3万回転の高速回転で切削でき、アルミも削る抵抗が一気に減って豆腐を削るような抵抗感になるという性能を聞きました。それを聞いた私は魅力に感じ、商談を進めていましたがコスト等が合わず購入には至りませんでした。しかし、時代が進むにつれて高速回転のマシニングセンタが普及し、マツウラのマシニングセンタは業界でもさらに先を行く高速回転であること、自動化による高効率生産であることの2点がうまく合致している機械であったため購入を決断しました。設備した当時は、神戸工場の取得とともにMAM72-3V\$を導入したため相当な出費であったことを考えると、購入を許可してくれたことに対して前社長に感謝をしています」と若林社長。

MAM72-3VSで初めて加工を担当したのは中森工場長でした。

「担当を任された当初、私は5軸加工機を使うことが初めてであったため使いこなせるかどうか戸惑いがありました。しかし、営業マンをはじめ、マツウラからのサポートを受けることですぐに扱うことができたことを覚えています。
MAM72-3VSを設備するまで当社は剛性の低い小型のマシニングセンタを使用してきましたが、MAM72-3VSでは加工が難しいワークを簡単に削れてしまうことや小さいワークでも精度よく削れたことから剛性の高さを実感しました」と中森工場長。同社はMAM72-3VS設備とともにGibbsCAMも導入しました。

「CAD、CAMはややこしいものだと思っていましたが、 **GibbsCAM**はウインドウが整理されていて扱いやすいです。 必要な画面や項目しか出ていないため、作業効率も良いです」と中森工場長。



▲若林社長(中央)、中森工場長(右)、漆原係長(左)



樹脂部品を高精度に加工 メイド・イン・ジャパンに貢献する企業



▲MAM72-3VS(平成16年設備)

5軸制御立形マシニングセンタMAM72-35Vを設備

同社は令和3年3月にMAM72-35Vを設備しました。

「MAM72は試作品が早くできて、量産にも活用できるため、もう1台をいつか設備したいと考えていたものの、平成29年に本社工場を増築した際に空けていたマシニングセンタ1台分のスペースには他社製のマシニングセンタを設備しました。しかし、生産性向上や働き方改革への対応を新たに考える必要が生まれ、中森工場長とFA推進を担当する漆原係長に対応策を問いかけたところ、漆原係長がMAM72を導入すれば既存設備の4台分をこなせるはずです、と返答されました。漆原係長に背中を押されるようにMAM72-35Vを導入して現場を改革していこう、と設備を決めました」と若林社長。

「MAM72-35Vに期待することは、多品種・小ロット生産にかかっている時間を短縮することです。パレットチェンジャーが搭載されていて40個のバイスを搭載できるということは最大40種類同時に段取りできることにもなります。あるものを加工している間に別のものを同時に段取りできるということは非常に便利です。また、40パレットを活かした夜間生産や少人化にも期待しています」と漆原係長。



▲MAM72-35V(令和3年設備)

株式会社若林精機工業 概要

大阪本社工場 〒561-0822 大阪府豊中市三国2-4-6 TEL 06-6333-4801 FAX 06-6333-9008

神 戸 工 場 〒651-2132 兵庫県神戸市西区森友4-94-2 TEL 078-922-6871 FAX 078-922-6981

役 員 代表取締役社長 若林繁正

創 業 昭和32年3月

従 業 員 80名

事 業 内 容 樹脂ならびに非鉄金属の精密切削加工、 精密射出成形



▲同社で加工された医療機器部品(アルミ)

コンセプト:「ならどうする」を追求する

「当社の理念としてできないからとすぐ断らず、なんとしてでもカタチにしようということがあります。できるように考えることが我々の課せられた使命です。このモノづくりの考え方が工場全体に浸透しており、できないことをできるようにする気持ちを持って社員1人1人が現場に接していることこそが当社の強みとなっています」と若林社長。

ビジョン:メイド・イン・ジャパンに貢献していく

「世界から日本製の製品っていいよね、と評価されていると思います。これは先人の人々が努力してきた結果に対する評価です。現在は我々がその評価を担っているなかで、GDPなど日本の評価が様々な面で下がりつつあります。私たちが絶対に守らないといけないことはお客様とともに高い品質をつくっていこうというスタイルです。将来どんなにDXや無人化が進んだとしても、品質のつくりこみは人しか介入できない仕事です。私たちはメイド・イン・ジャパンという先人の人々が築いたブランドや精神を今後も大事に研ぎ澄ましていきたいと考えています」と若林社長。

商店からスタートし、お客様により良いモノを提供するために自ら製造業へ業種転換した同社。業種は変わってもお客様に良いものを、というフィロソフィーは脈々と受け継がれていました。インタビュー中にも合間に笑いを交えながらお話をされていた若林社長からもサービス精神があふれ出ていました。

「QRコードよりインタビュー 動画をご覧になれます。」





マツウラソリューションセミナー(3月)



コロナ禍による国内外の展示会の中止などでユーザーとのコンタクト機会が減る中、マツウラでは動画コンテンツの LIVE配信による新たなマーケティングに取り組んでいます。

「マツウラソリューションセミナー」 と題して、3月17日(水)、18日(木)、24日(水)、25日(木)の4日間、5軸マルチパレット(**MX-330 PC10**)の自動化及び金属3Dプリンタ(**LUMEX**)について、オンラインセミナーを開催しました。

今後もマツウラではLIVE配信を用いたオンラインセミナーを推進してまいります。今後の開催予定については当社 HPなどで随時ご案内いたします。

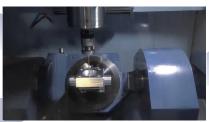
開催概要

会期:2021年3月17日(水)、3月18日(木)、3月24日(水)、3月25日(木)

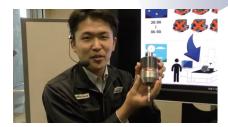
会場:WEB配信

【5軸マシニングセンタ活用セミナー(自動化編)】









セミナー概要

5軸制御立形マシニングセンタ**MX-330 PC10**の更なる自動化をご提案。 自動計測・マクロプログラムを活用した自動化(生産性向上)ソリューション を紹介します。

アーカイブ配信

動画展示

・5軸活用セミナー

5軸制御立形マシニングセンタ**MX-330 PC10**の更なる自動化

・**MX-330 PC10** スケジュール管理

· **MX-330 PC10** 5軸バイス・ 治具の活用

◆「はじめてでも安心・簡単5軸」をキーワードに、良好な操作性・ 高い加工能力・コストパフォーマンスを有したMXシリーズ。





【ハイブリッド金属3Dプリンタ活用セミナー】









セミナー概要

ハイブリッド金属3DプリンタLUMEXの最新ソリューション、受託造形サービスの紹介。

最新材料、受託造形サービスの流れ、メリットについてご提案します。

アーカイブ配信

動画展示

最新ソリューション、受託造形サービ スの紹介 概要編 · · · · 金型編、部品編 実機実演 · · · 金型編、部品編

◆LUMEXは、従来の3D金属プリンタでは得られなかった、マシニングセンタと同等の高い加工精度、面粗度を実現。



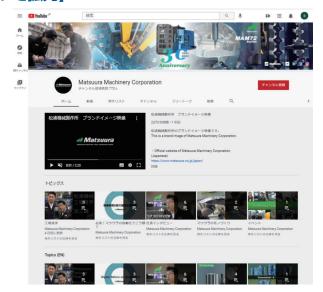
【マツウラYouTubeチャンネルでも動画コンテンツを拡充】

マツウラでは自社YouTubeチャンネルにて、国内外のユーザーに向けた様々な動画コンテンツをアップロードしており、2021年4月現在の投稿動画総数は140件を超えています。

当社DX推進室の主導の下、製品ラインナップや、実機を用いた加工実演動画、国内外のユーザーインタビューなど多岐に渡る動画コンテンツを公開しています。

海外ユーザーへの訴求力を高めるため、英語字幕を用意するだけでなく、海外ドキュメンタリー風の編集手法を取り入れるなど、海外展開を重視するマツウラ独自の工夫が凝らされた内容となっています。

下記のQRコードから当社のYouTube チャンネルに アクセスし、マツウラの動画コンテンツをぜひご覧くだ さい。



2月に公開された「松浦機械工場見学」シリーズでは、日本語版と英語版をそれぞれの言語で個別 に収録

国内外のユーザーにマツウラのモノづくりを紹介









■■ 海外ユーザーインタビュー

DX推進の一環として、マツウラグループではお客様の声を動画コンテンツにて積極的に作成しております。本誌では、配信中の動画からピックアップしてご紹介いたします。ぜひQRコードやマツウラYouTubeチャンネルよりアクセスいただき動画をご視聴ください。

Milltech社 (1993年創業)

「マルチパレットによる生産コスト削減のおかげで、 価格競争では中国企業にさえ負けません」

















1993年創業のMilltech社は、従 業員数約60名のイギリスの受託加 工会社です。

加工するワークの95%は石油・ガス業界向けのバルブやマニホールドで、素材はステンレスやインコネルなどの難削材がほとんどです。

納入する品数も多いですが、 **H.Plus-300 PC15**を活用して、24 時間7日間稼働を行い生産性を最 大限に高めています。

同社は2014年に1台目の **H.Plus-300 PC15**を導入したあ と、2018年には2台目を導入して います。

- A&G Precision社 (1989年創業)

「採用活動にてマツウラの機械は働きやすい会社としてのアピールにもなっています」















1989年創業のA&G Precision社は、 従業員数約100名のイギリスの受託加 工会社で、主力の航空機部品(戦闘 機・民間航空機)のほか、F1・石油ガ ス業界向けの精密部品も加工していま す。

2019年、同社は客先からの受注増加で仕事量がかさみ、残業が増え、家族との時間がとれないなどの問題を抱えていました。この悩みを見事解決してくれたのがマツウラのH.Plus-300 PC15です。マルチパレットのおかげで長時間無人運転が可能となり、従業員の皆さんのQOLも一気に向上したそうです。

3K(きつい・汚い・危険)のイメージのせいで製造業への就職を志望する学生が減っているなか、マツウラの機械をもっているということは採用活動の面においてホワイトな職場環境を提供していることにもなるようです。



令和3年度 新入社員入社式

令和3年度新規学卒者の入社式が、4月1日に松浦機械製作所本社にて執り行われました。今年度は14名が入社致します。

入社式では松浦社長ならびに当社執行役員が、新入社員に向けて激励の言葉を送りました。

新入社員の陶山聡子さんは「失敗を恐れずに何事にも取り組み、一人前の社員そして責任ある社会人となるべく、 決意を新たにしております。」と一同を代表し所信表明を行いました。

入社式前に食堂で行われた全体朝礼では、社員の前で新入社員が紹介され、緊張の中で一人一人自己紹介と決意を 発表しました。全体朝礼の様子は、社内各所にLIVE配信されました。

新体制の下、マツウラの未来を担う14名の今後の活躍に期待します。



▲新たにマツウラに加わった14名の新入社員



▲本社にて執り行われた入社式

シングルorダブル

お二人への感謝と決意



社長 松浦 勝俊

先般3月末の弊社定時株主総会を以って神戸久信並びに天谷浩一両常務取締役は勇退第れ相談役に就任し、新任取室れ相談役に就任し、新任取室を迎えました。それと同時に新たに執行役員制度を導入し、執行役員が実務的な責任者として各本部の指揮をとる

ことになり、これでマッウラは4月から本格的な新 経営体制に移行しました。

神戸並びに天谷両相談役は、それぞれ入社して48年と37年余りの長い間、創業者から三世代に渡る経営者の下、身を粉にしてマツウラの発展に大いに貢献して頂きました。私が安心して国内外を飛び回ることが出来たのも、機械開発から資材調達、製造、営業、そしてアフターサービスまでお二人が担当部門をしっかり管轄し社を切り盛りして守ってくれたお陰です。お二人をご存知の方なら、彼らの身体を張った裏表ない真摯で誠実な姿勢には、勿論ご賛同いただけるものと思います。言葉だけでは全てを言い尽くせませんが、お二人のこれまでの多大なる尽

力とマッウラとご縁を頂けたことに、ここに改めて 深く感謝の意を表します。

コロナ禍の折大人数が集まるのは難しかったので

すが、社員からどうしてもお二人へ労いと感謝の意 を伝えたいとのたっての希望があり、定時株主総会 後、社の食堂や各会議室に社員を分散し、メイン会 場から会の進行を同時中継で出先を含めた各所へリ モート配信して慰労会を執り行いました。私の挨拶 に始まり、社員一同からお二人のお好きな高級赤ワ インとワイングラス、ハイブリッド金属3Dプリン タLUMEX Avance-25で作成した記念のオブジェ 等々、心のこもった品々の贈呈、そしてお二人から それぞれのマツウラでの歩みを振り返っての心に響 く言葉が発せられ皆感じ入りました。結びに次代を 担う松浦取締役から「お二人がヨボヨボになって会 社に来られた時に「お前ら頑張ってるな。誇らしい わ」と言っていただけるよう皆で力を合わせて盛り 上げて行きます!」との決意表明があり、短い時間 ではありましたが、濃密な会となりました。

お二人の薫陶を受けた我々が、新体制下で従来以上に効率的な業務運営を目指し一所懸命頑張って参ります。皆様、どうぞご期待下さい。



お知らせ

1 新人事(3月21日付)

氏 名	新 役 職	氏 名	新 役 職	
高畠 桂二朗	組立本部 第二組立 工場長 兼	坂野 喜代志	統合物流本部 生産管理 マネージャー 兼	
	シニアマネージャー		物流 マネージャー	
嶋田 桂一朗	品質本部 カスタマーサポートシニアマネージャー	山本 裕人	組立本部 第一組立 マネージャー	
藤田 将	品質本部 品質保証 シニアマネージャー	下家 稔晃	営業本部 生産支援システム マネージャー	
黒川 浩二	営業本部 営業サポート シニアマネージャー 兼	飯塚 崇史	技術本部 商品設計 マネージャー	
	アプリケーションサポート シニアマネージャー	五十嵐 哲也	営業本部 アプリケーションサポート マネージャー	
金子 真樹	技術本部 商品設計 シニアマネージャー 兼	木村 聡一	統合物流本部 購買 マネージャー	
	生産技術 シニアマネージャー 兼	島田 清隆	品質本部 カスタマーサポート マネージャー	
	技術管理 シニアマネージャー	松尾 邦人	統合物流本部 スピンドル事業 マネージャー 兼	
荒川 裕史	技術本部 開発研究 シニアマネージャー	位尾 邦八	生産管理 マネージャー	
熊尾 英昭	統合物流本部 購買 シニアマネージャー 兼	五十嵐 公俊	営業本部 国内MC販売 マネージャー	
庶佬 天阳	加工 シニアマネージャー	11 風 五夜	北関東営業所長	
吉田 光慶	技術本部 開発研究 シニアマネージャー	永森 典之	組立本部 第一組立 マネージャー	
サイモン・	営業本部 LUMEX販売 シニアマネージャー	裏谷 明彦	営業本部 国内MC販売 主幹北関東営業所 勤務	
チャペル			技術本部 技術管理 主幹 兼	
多田 裕次			技術本部付 主幹 本社 勤務	

※マネージャー、主幹以上を記載しています。

■ 福井のアマチュアサッカーチーム「福井ユナイテッドFC」のオフィシャル・クラブ・パートナーに

「サウルコス福井」時代から数えて8年目となる本年も、マツウラでは「福井ユナイテッドFC」を応援いたします。ユニフォームの背中にマツウラのロゴが入り、またホームゲームではピッチ看板が設置されます。また、本年から加入した野中魁選手(15番)と森永秀紀選手(25番)はマツウラで就業しています。 J3から期限付き移籍加入選手を迎え戦力を高めた今シーズンは、開幕2連勝を飾りJFL昇格に向け好



下記スケジュールの通り、ホームゲームが行なわれますので是非スタジアムでの応援をお願い致します。

▲背面上部にマツウラロゴ

節	試合日	開催地	試合会場	キックオフ	対戦チーム
4	5/15(土)	大野市	奥越ふれあい公園陸上競技場	13:00	FC北陸
7	6/20(日)	敦賀市	敦賀市総合運動公園陸上競技場	13:00	JAPANサッカーカレッジ
8	6/27(日)	坂井市	テクノポート福井スタジアム	13:00	富山新庄クラブ
11	7/25(日)	坂井市	テクノポート福井スタジアム	13:00	'05加茂FC
15	8/29(日)	坂井市	テクノポート福井スタジアム	13:00	新潟医療福祉大学FC
18	9/19(日)	坂井市	テクノポート福井スタジアム	13:30	アルティスタ浅間

本号の書き終わり

* 日本工作機械工業会から3月度の 受注状況が発表されました。3月度 の工作機械受注額は1,279億円(前 月比21.1%増)と外需を中心とし た回復が続き、2月度に引き続いて 1,000億円を超えました。内需は 405億円と2019年9月以来18ヶ 月ぶりに400億円を超えました。今 後についても、事業再構築補助金に向けた引き合いが増加している、との声もあり緩やかな回復傾向にあります。外需は874億円と中国を中心としたアジア圏にて高水準の受注が続き、2018年10月以来29ヶ月がりに800億円越えとなりました。

1,000億円を超えました。内需は * 2021年4月より経営体制を一新 405億円と2019年9月以来18ヶ いたしました。新しい顔ぶれとなっ 月ぶりに400億円を超えました。今 た経営陣の紹介動画をマツウラ YouTubeチャンネルにて5月より配信予定ですので、ぜひご覧ください。また、新体制に合わせて本誌マッウラNEWS!も10年ぶりに緑ベースの配色から青ベースの配色に変更しました。社員一同、お客様のモノづくりを支えるため、これからもお客様と向き合い、真摯なモノづくりを続けてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

経営企画室 清水 継太

マツウラの最新情報をインターネットでご案内しています。 https://www.matsuura.co.jp/ 株式会社松浦機械製作所 広報誌 〒910-8530 福井市東森田町4-201Tel.(0776)56-8100/代表令和3年4月発行 第40巻第2号(通巻200号) 編集人/株式会社松浦機械製作所 清水 継太

調なスタートを切りました。